



# ロボット介護機器開発・導入促進事業(開発補助事業)

---

## 公募説明会

2017.10.20 14:00~15:00

10.23 14:00~15:00

日本医療研究開発機構 (AMED)

産学連携部 医療機器研究課

## 今日のメニュー

---

- 公募に関する説明(40分)
  1. 公募の主な概要について
  2. 提案書について
- 質疑応答(20分)

# 1. 公募の主な概要について

---

# ロボット介護機器開発・導入促進事業(開発補助事業) 概要

## 【背景】(公募要領 p.1)

介護従事者の負担軽減の観点から、介護現場においてロボット技術の活用が強く期待されている一方で、ロボット介護機器の分野は、市場性が見えない、開発に特別の配慮が必要、ユーザの声が開発者に届きにくいという状況が、開発・製品化を妨げていると考えられます。

これらの障害を克服するため、経済産業省は、①現場のニーズを踏まえて重点分野を特定(ニーズ指向)、②ステージゲート方式で使い易さ向上とコスト低減を加速(安価に)、③現場に導入するための公的支援・制度面の手当て(大量に)をコンセプトとし、平成25年度より、「ロボット介護機器開発・導入促進事業」を実施しています。

既に、経済産業省と厚生労働省は「ロボット技術の介護利用における重点分野(平成24年11月22日 経済産業省・厚生労働省公表、平成26年2月3日改訂)」(以下、「重点分野」という。)を公表しており、本事業ではこの重点分野のロボット介護機器の開発・導入の支援を行うことにより、要介護者の自立促進や介護従事者の負担軽減を実現し、ロボット介護機器の新たな市場の創出をめざしています。

# ロボット介護機器開発・導入促進事業(開発補助事業) 概要

## 【事業内容・目的】(公募要領 p.31)

「ロボット介護機器開発・導入促進事業(開発補助事業)平成29年度研究基本計画」(別添)に記載されている、平成29年10月に改定された重点6分野13項目に対し、介護現場のニーズに基づいた開発を支援します。詳細は研究基本計画を参照してください。

「介護現場のニーズに基づいた」開発であることの裏付けとして、ニーズ調査報告書(介護施設等を含めた協議会等でのニーズ検討報告書、または介護現場へのヒアリング・アンケート等によるニーズ調査レポート等)を併せて提出していただきます。

なお、既存重点分野項目と新規重点分野項目(装着移動、排泄予測、排泄動作支援、コミュニケーション、業務支援)で、事業内容が異なります。

# ロボット介護機器開発・導入促進事業(開発補助事業) 募集要件

【募集資格者】(公募要領 p.2)

企業(中小企業、大企業)及び技術研究組合

【補助金\*の規模等】(公募要領 p.4)

分野等、 公募研究開発課題名	ロボット介護機器の開発補助事業 ①既存重点分野項目(改良開発) ②新規重点分野項目(FS、試作開発)
補助金の規模*	1課題当たり 500万円～1億円
実施予定期間	平成30年3月31日まで
採択予定件数	0～15課題程度

\*補助対象経費に補助率を乗じた金額。補助率は1/2とします。  
ただし、代表機関が中小企業の場合には2/3とします。

重点分野	項目(略称)	既存/新規	補助対象
移乗介助	装着型	既存	改良開発
	非装着型	既存	改良開発
移動支援	屋外移動	既存	改良開発
	屋内移動	既存	改良開発
	装着移動	新規	FS、試作開発
排泄支援	排泄支援	既存	改良開発
	排泄予測	新規	FS、試作開発
	排泄動作支援	新規	FS、試作開発
見守り・ コミュニケーション	介護施設見守り	既存	改良開発
	在宅介護見守り	既存	改良開発
	コミュニケーション	新規	FS、試作開発
入浴支援	入浴支援	既存	改良開発
業務支援	業務支援	新規	FS、試作開発

6分野13項目 ← 5分野8項目

既存/ 新規	過去に当事業 での補助金を 受けているか	補助対象	制限事項	説明資料 の添付
既存 項目	受けている	改良開発	過去のプロジェクトと 重複する開発は不可	要
	受けていない		なし	不要
新規 項目	受けていない	FS、試作開発	なし	不要

種類	内容
FS	開発しようとする製品の有用性や必要仕様などの調査
試作開発	主要ユニットの開発等
改良開発	既存製品や、開発完了品の改良等

## 2. 提案書について

---

- ・応募に必要な提案書、添付様式の説明
- ・審査項目とそれに対応した提案書の主要部分の記載説明
- ・提出方法

様式名	e-Radによる提出
提案書 (様式1, 別紙1, 別添, 別紙2リスクアセスメントシート) ※別紙2の提出は任意です	PDFファイル (1つに結合したもの)
ニーズ調査報告書	PDFファイル
重複開発でないことを示す資料 (該当事業者のみ)	PDFファイル
財務諸表	PDFファイル (直近3カ年分を1つに結合したもの)

評価項目	
(a) 事業趣旨等との整合性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 応募資格を満たしているか</li> <li>2. 事業趣旨、目標等に合致しているか</li> </ol>
(b) 科学的・技術的な意義及び優位性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の技術レベル及びこれまでの実績は十分にあるか</li> <li>2. 独創性、新規性、革新性を有しているか</li> <li>3. 医療・介護分野の進展に資するものであるか</li> <li>4. 新技術の創出に資するものであるか</li> <li>5. 社会的ニーズへ対応するものであるか</li> <li>6. 医療・介護分野の研究開発に関する国の方針に合致するものであるか</li> </ol>
(c) 計画の妥当性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全体計画の内容と目的は明確であるか</li> <li>2. 計画は具体的なものでかつ、実現可能であるか</li> <li>3. 生命倫理、安全対策に対する法令等を遵守した計画となっているか</li> </ol>
(d) 実施体制	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 申請者を中心とした研究開発体制が適切に組織されているか</li> <li>2. 十分な連携体制が構築されているか</li> <li>3. 申請者等のエフォートは適切であるか</li> <li>4. 不合理な重複／過度の集中は無いか</li> </ol>
(e) 所要経費	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経費の内訳、支出計画等は妥当であるか</li> </ol>
(f) 事業で定める項目及び総合的に勘案すべき事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ニーズの捉え方が適切か、ニーズの根拠が十分であるか、ニーズが深掘りされているか</li> <li>2. 本事業の関連分野に関する知見を有しているか</li> <li>3. 事業化を見据えた計画となっているか</li> </ol>

提案書作成にあたり、以下の項目を記載して下さい

## (1)研究目的

- ・提案が本事業の趣旨・目的にどのように合致しているか
- ・調査したニーズに対して、どの様に対応するのか
- ・事業期間内に何をどこまで実施するのか

提案書作成にあたり、以下の項目を記載して下さい

(1) 要約(英文・和文)＜最後に別添として添付＞

- ・別添に記載し、個々では何も記載しない

(2) 研究計画・方法

- ・(概要)の表に必要事項を記載する。
- ・改良開発の場合は、ベースとなる製品名・型名を明記し、ベースとなるものを特定する。
- ・上市までの工程は、上市(発売)までの計画を工程と年月で記載する。
- ・事業開始時の製品・試作品の状況は、ベースとなる製品や試作品等の状況(できること、課題等)を明確にする。(FSの場合は開発状況)
- ・事業終了時(H30年3月末)の目標は達成状況を明確にする。
- ・表外に、表記載の内容を踏まえ、概要を文章で記載する。
- ・(本文)は、文章で記載する。
- ・概要(表以外)と本文は1,600字以内で記してください。(1ページ以内)

## 提案書別紙（研究開発提案書(記載要領) p.9～15)

---

提案書作成にあたり、以下の項目を記載して下さい

記載要領に書き方の説明があります。

- ・記載要領の説明にしたがって記載してください。

### 提案書【3 実施体制図】（研究開発提案書(記載要領) p.16

- ・例にならって実施体制図を記載する。
- ・委託先(分担者)がある場合は、委託先も記載する。

### 提案書【4 開発参加者】（研究開発提案書(記載要領) p.17

- ・研究開発分担者以上の参加者を記載する。

## 提案書【5 事業費の内訳】（研究開発提案書(記載要領) p.18, 19)



提案書作成にあたり、以下の項目を記載して下さい

### (1) 事業費

- ・千円以下切り捨てで記載してください。

### (2) 経費区分毎の積算根拠

- ・積算根拠が判るレベルで記載してください。
- ・大きな金額の案件は、個別に記載してください。

## 提案書【6 主なスケジュール】（研究開発提案書(記載要領) p.20

- ・H30年3月までのスケジュールを項目ごとに図示してください。
- ・開始月に合わせて書き変えてください。(4月開始でなくてよい)

## 提案書【7 参加法人概要】（研究開発提案書(記載要領) p.21

- ・代表機関の概要を記載してください。
- ・委託先がある場合は、委託先の概要も記載してください。

## 提案書作成上の注意(公募要領p.32)

---

- 公募要領及び研究開発提案書に示した記載要領に従って、必要な内容を誤りなく記載してください。
- e-Rad上で入力する研究目的、研究概要は、提案書と齟齬がないようにし、要約して入力して下さい。
- 別添となっている「Summary of Proposal」「研究開発提案書要約」の記載に当たっては、提案書の記載と齟齬が生じないようにご確認ください。

- e-Rad入力申請にて受付します。

公募×切

e-Rad: 平成29年11月13日(月)正午厳守

## 1. 提案書類様式の入手方法

提案書類の様式等、応募に必要な資料はAMEDウェブサイトの公募情報からダウンロードしてください。

## 2. 提案書類の提出

- ・提案書類の提出は、受付期間内にe-Radを通じて提出して下さい。
- ・受付期間内に提出が完了していない場合は提案を一切受理しません。
- ・受付期間終了後は提案書類の差し替え等には応じられません。

イベント	日程
公募・提出期間	平成29年11月13日(月)正午(厳守)
書面審査	平成29年11月中旬～平成29年12月上旬(予定)
ヒアリング審査	対象者には別途、連絡致します。
採択可否の通知	平成29年12月中旬(予定)
開発開始予定日	平成30年1月中旬～

- e-Rad入力申請には研究開発代表者の機関登録ならびに研究者情報登録が必要です。取得に2週間程度かかる場合がありますので、早めに手続きください。
- 公募の切日は、アクセス集中によりe-Rad入力に時間がかかる場合があります。早めに入力いただくことを強くお勧めします。

現在募集中の公募一覧

The screenshot shows the e-Rad website interface. At the top, there is a header with the e-Rad logo and the text '府省共通研究開発管理システム'. Below the header, there is a section for '最新のお知らせ' (Latest News) with a list of notices. A red arrow points from the text '現在募集中の公募一覧' to the link '現在募集中の公募一覧' in the first notice. Below the notices, there is a section for '研究者向けページ' (Pages for Researchers) with a red arrow pointing from the text '操作マニュアル' to the '操作マニュアル' link. The sidebar on the right contains various navigation links such as 'e-Radへのログイン', 'お知らせ', 'システム概要', 'ご利用に当たって', 'システム利用に当たっての事前準備', '研究機関はこちら', '研究者はこちら', '研究機関登録後の各種手続', '本システムで対象となる公募一覧', 'リンク集', 'ヘルプデスクへのお問い合わせ', and '体験版'. At the bottom of the sidebar, there is a search box and a link to 'よくある質問と答え'. The footer contains copyright information: 'Copyright © Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology'.

操作マニュアル